

目次

こども福祉科 保育士・幼稚園教諭コース 2年

A 厚生労働省指定科目

*…豊岡短期大学通信授業科目。豊岡短期大学通信教育部シラバス参照のこと。

◎…豊岡短期大学認定科目。

教養科目

経済学	村中典彰	3
-----	------	---

専門的科目

こども家庭支援論	長谷あゆみ	4
* こどもの理解と相談支援	高橋裕	
◎ こどもの保健	奥野啓子	5
◎ こどもの食と栄養	坂岡寿恵	6
* こどもの指導法「健康」	浦田日出雄	
* こどもの指導法「環境」	武田克江	
* こどもの指導法「音楽表現Ⅱ」	折笠美穂 田中智子	
* こどもの指導法「言語表現」	横田由紀子	
◎ 乳幼児保育Ⅱ	谷内智美	7
◎ こどもの健康と安全	高橋和也	8
障害児保育Ⅱ	千葉桂子	9
◎ 社会的養護Ⅱ	和田晃尚	10
◎ 子育て支援	伊藤礼美	11
* 保育・教職実践演習	井口美和	
* 特別支援教育	渡辺隼人	
* こどもの指導法「音楽表現Ⅲ」	折笠美穂 田中智子	
* 環境論	早坂聡子	
こどもとリズム表現Ⅲ	道上里奈	12
幼児造形	矢元政行	13
こどもと音楽表現Ⅳ	折笠美穂 田中智子 房田里枝	14
保育実習Ⅱ	谷内智美	15
保育実習Ⅲ	房田里枝	16
保育実習指導Ⅱ・対策Ⅱ（保育所）	谷内智美	17
保育実習指導Ⅲ・対策Ⅲ（施設）	房田里枝	18
* 教育実習	井口美和 藤田留美	

* 教育実習対策Ⅱ	藤田留美	……………	20
◎ こどもと体育	高橋和也	……………	21
卒業研究	房田里枝	……………	22
保育制作Ⅱ	谷内智美	……………	23
障害者支援論	林 広康	……………	24
卒業研究Ⅱ	房田里枝	……………	25
卒業研究Ⅲ	房田里枝	……………	26

A 本校独自科目

教育実習対策Ⅲ	井口美和	……………	27
点訳	吉田重子	……………	28
応対論Ⅱ	三品あおい	……………	29
国語総合演習Ⅱ	浦田日出雄	……………	30
就職ガイダンスⅡ	長屋敦志	……………	31

講義要綱

学科・コース	年次	授業形態
こども福祉科 合同	1年	講義
科目名	授業回数	授業時間
経済額	8回	15時間
担当者氏名	担当者実務経験	
村中 典彰	高等学校での地歴公民科教員44年	
科目のねらい		
①グローバル化した現代社会において、経済の仕組みを理解する。 ②自らの家計を省みて、収入と支出を知る。 ③国際情勢と石油や小麦などの物価の動きを知る。 ④銀行の預金と借入金の利息が世の中に与える影響を知る。 ⑤政策の変更によって税制が見直され、所得税や住民税、消費税の金額が変わり、住宅資金の返済額も変わることを理解する。		
到達目標		
経済学が扱う事柄に直面した時に、適切な判断を行うためにはしばしば利子や税金などといった経済学と深いかかわりを持つ事柄についての知識が必要になります。この講義の目標は、経済学を学ぶことを通して日常生活で出会う経済事象への理解を深めることにあります。		
受講の心構え		
適宜課題を提出してもらいます。 身の回りの物事が経済とどのようにかかわっているのかに関心を持ってみましょう		
成績評価基準		
試験・提出物：：80%、授業態度・出席状況：20% 期末に試験を行います。		
授業計画表		
1. 経済学とは 2. マクロ経済学について（利潤とGDP） 3. ミクロ経済学について（需要・供給と均衡） 4. 自由な市場の長所と短所（資本主義経済と社会主義経済の比較） 5. 公共財と税金 6. 貨幣と利子（ビットコイン・クレジットカード・PAY PAYなどの仕組みと活用） 7. リスクと保険 8. グローバル化と北海道の活性化		
使用テキスト・参考文献		
テキストは特に使用しません。毎時プリント・資料を作成します。 参考文献は適宜紹介します。		

講義要綱

学科・コース	年次	授業形態
こども福祉科 合同	2年	講義
科目名	授業回数	授業時間
子ども家庭支援論	15回	30時間
担当者氏名	担当者実務経験	
長谷 あゆみ	授業内容にかかわる実務に保育士として5年以上の経験を有する。	
科目のねらい		
子どもの安心で安全な日々を保障し、その健やかな成長と発達のためには、子育て家庭への支援は欠かせません。「子どもの最善の利益」は何なのかを常に考え、家庭支援の方法を具体的にかつ社会的観点からも学びます。		
到達目標		
1, 子育て家庭への支援の意義・目的を理解する 2, 個々の子ども理解・家庭（保護者）理解を深める 3, 多様な支援の展開と保育現場での実際の援助を学ぶ		
受講の心構え		
保育士の専門性を高める大切な内容となっています。現場での実際の子どものケアと家庭支援に活かせるよう積極的に学びましょう。 配布されるレジメ・資料のファイリングを必ずして下さい。		
成績評価基準		
レポート・筆記試験（70%） 授業の取り組みや態度（30%）		
授業計画表		
1, オリエンテーション／家庭支援の意義 2, 保育士の子育て・保護者支援とは 3, 子どもの福祉を図るための社会資源 ①児童相談所 4, 子どもの福祉を図るための社会資源 ②子どもの福祉施設 5, 子どもの福祉を図るための社会資源 ③児童養護施設 6, 保育士の専門性ー保育所倫理要綱 保護者への対応 7, 保育士に求められる基本的姿勢ーバイステックの7原則・事例検討 8, 子育て家庭のハイリスク要因ー子どもの虐待・貧困など 9, 保育士の役割ー保育所保育指針改定のポイント 10, 前半のまとめ 11, 子どもへの具体的な対応とケア 12, グループワーク・事例検討会 13, 保育現場におけるソーシャルワーク 14, セルフケア／対人援助職についての総括 15, まとめ		
「松原康雄 他『新基本保育シリーズ⑤ 子ども家庭支援論』（中央法規）」 その他、随時授業時に資料を配布。		

講義要綱

学科・コース	年次	授業形態
こども福祉科 合同	2年次	講義
科目名	授業回数	授業時間
こどもの保健	15回	30時間
担当者氏名	担当者実務経験	
奥野啓子	-	
科目のねらい		
① 子どもの発育・心身の健康状態を理解する。 ② 子どもに多く見られる代表的な疾患の予防・早期発見・対処方法の基礎知識を学ぶ。		
到達目標		
① 子どもの身体的な発育・発達と保健活動について理解できる。 ② 子どもの心身の健康状態とその把握の方法について理解できる。 ③ 子どもの疾病と予防方法および多職種連携について理解できる。		
受講の心構え		
最終試験は配布資料から出題します。資料は授業内に記入してください。宿題は授業の初めに発表してもらうので用意を忘れないでください。		
成績評価基準		
筆記試験 80% 出席状況・授業態度・課題 20%		
授業計画表		
1. 子どもの心身の健康と保健の意義 ①生命の維持と安定に係る保健活動 2. ②健康の概念と保健指導 3. ③現代社会における現状と課題 ④地域における保健活動と虐待防止 4. 子どもの身体的発育・発達 ①身体発育及び運動機能の発達と早期発見 5. ②生理機能の発達と保健 6. 子どもの心身の健康状態と把握 ①健康観察 ②不調時の早期発見 7. ③発達・発育の把握と健康診断 8. ④医療・機関・保護者との情報共有 9. 子どもの疾病の予防及び適切な対応 (1) 主な疾病の特徴 ①先天性の病気 10. ②循環器、呼吸器、消化器の病気 11. ③アレルギー、免疫、腎泌尿器、内分泌の病気 12. ④脳の病気、その他の病気 13. ⑤感染症 14. (2) 子どもの疾病の予防と適切な対応 15. まとめ		
使用テキスト・参考文献		
豊岡短大『子どもの保健』豊岡短大 資料は初回授業時に配布します。		

講義要綱

学科・コース	年次	授業形態
こども福祉科 合同	2年次	演習
科目名	授業回数	授業時間
こどもの食と栄養	15回	30時間
担当者氏名	担当者実務経験	
坂岡 寿恵	-	
科目のねらい		
こどもの健全な発育・発達には、成長段階における適切な栄養摂取と食生活が重要であり、生涯にわたる食生活習慣の基盤をつくる大切な時期です。保育者として、こどもの食に直接かかわるための知識と技術を身につけます。		
到達目標		
1. 食と栄養に関する基礎知識と健康的な食生活の意義を習得する。 2. こどもの発育・発達段階に適応した食事支援ができる。 3. こどもの食生活の現状と問題点を把握し、食育の重要性の理解と実践力を身につける。		
受講の心構え		
授業を通して自分の食生活や世の中の食や栄養に関する情報に関心を持ちましょう。配布資料、プリント等は全てファイリングして毎回持参すること。確認テストあり。授業への積極的な参加を望みます。		
成績評価基準		
筆記試験70% レポート・確認テスト20% 出席状況・授業姿勢10%		
授業計画表		
1. こどもの栄養・食生活の意義、こどもの食生活の現状と課題 2. こどもの身体発育と栄養状態の評価、食べる機能の発達 3. 栄養・食生活の基礎知識① 4. 栄養・食生活の基礎知識② 5. 栄養・食生活の基礎知識③ 6. 妊娠・授乳期の栄養と食生活、乳児期の栄養と食生活 7. 乳児期の栄養と調乳実習 8. 離乳期の意義と離乳食 9. 離乳期の食事の実際 10. 幼児期の栄養と食生活 11. 幼児期の食事と食育 12. 学童期・思春期の栄養と食生活 13. 特別な配慮を要する子どもの食と栄養 14. こどもの食育（演習） 15. 授業のまとめ・考察		
使用テキスト・参考文献		
久保田絹江『子どもの食と栄養』豊岡短期大学 毎回授業開始時にプリント配布 参考文献は授業内で適宜紹介します。		

講義要綱

学科・コース	年次	授業形態
こども福祉科 合同	2年	演習
科目名	授業回数	授業時間
乳幼児保育Ⅱ	8回	15時間
担当者氏名	担当者実務経験	
谷内 智美	授業内容に関わる実務に保育士として5年以上の経験を有する	
科目のねらい		
乳児期は、人生の出発点であり、人間が一生のうちで最も成長する時期です。子どもが「人」として生きていくうえで基本となる心情・意欲・態度の基礎を習得し、その力を活用して人格を形成していく大切な時期です。その大切な時期を保育する大人であることの重要性を理解し、保育者としての人間性と専門性を身に付けていきます。		
到達目標		
・乳幼児保育における保育の実際と配慮事項について具体的に理解する。 ・演習を通し、実践に役立つ知識や「考える力」を養う。		
受講の心構え		
1年次の乳幼児保育（講義）からの続きになります。プリントは同じファイルに綴じてください。保育士の資格を持つ自覚を持ち、意欲的に参加してくださいね。		
成績評価基準		
授業の取り組みやまとめを踏まえ、総合的に評価します。		
授業計画表		
<ol style="list-style-type: none">1 オリエンテーション／乳児保育の基本2 0歳児クラスの実態（生活・環境・援助）3 1歳児クラスの実態（生活・環境・援助）4 2歳児クラスの実態（生活・環境・援助）5 乳児保育における配慮6 長期的な指導計画と短期的な指導計画、個別の指導計画について7 計画の振り返りについて8 授業のまとめ		
使用テキスト・参考文献		
・授業時にプリントを配布します ・寺田清美・大方美香・塩谷香「乳児保育Ⅰ・Ⅱ新・基本保育シリーズ⑮」中央法規		

講義要綱

学科・コース	年次	授業形態
こども福祉科 合同	2年次	演習
科目名	授業回数	授業時間
こどもの健康と安全	8回	15時間
担当者氏名	担当者実務経験	
高橋 和也	授業内容にかかわる実務に幼稚園教諭として5年以上の経験を有する。	
科目のねらい		
保育の原点は、子どもの命を守り、子どもの健やかな育ちを支えることにあります。子どもの保健に関する知識を学び、保育のなかで実践していくことが保育者には求められます。保育における保健的観点を踏まえた保育環境や援助について理解していきましょう。		
到達目標		
1 保育における保健的対応の基本的な考え方を踏まえ、衛生管理、事故防止及び安全対策、感染症対策について理解する。 2 子どもの発達や状況等に即した適応な対応、子どもの体調不良等に対する適切な対応について具体的に理解する。		
受講の心構え		
保育士の仕事は、子どもの安心・安全を守ることが基本となります。実技もありますので積極的な参加を期待しています。		
成績評価基準		
授業への取り組み30%、提出物20%、筆記試験50%		
授業計画表		
1 オリエンテーション・保健的観点を踏まえた保育環境および援助 2 保育における健康および安全管理① 3 保育における健康および安全管理② 4 子どもの体調不良などに対する適切な対応 5 感染症対策 6 保育における保健的対応 7 健康および安全の管理の実施体制 8 授業のまとめ		
使用テキスト・参考文献		
特になし 松田博雄、金森三枝『子どもの健康と安全』中央法規		

講義要綱

学科・コース	年次	授業形態
こども福祉科 合同	2年次	講義
科目名	授業回数	授業時間
障がい児保育Ⅱ	8回	15時間
担当者氏名	担当者実務経験	
千葉 桂子	授業内容にかかわる実務に保育士として5年以上の経験を有する。	
科目のねらい		
障がい児保育の歴史を知る。 障がい児保育の実際について学ぶ。		
到達目標		
障がい児保育を支える理念や歴史の変遷を知り、理解を深める。 支援者として求められる専門性について理解する。 障がい児保育の実際について、個別の支援計画や指導計画など具体的な支援の仕方を通して学ぶ。		
受講の心構え		
保育の現場には障がいの有無に関わらず様々な支援が必要な児がいます。現場での状況や取組を伝え、実技も取り入れながら進めます。毎回配布する資料は必ずファイルし持参してください。ミニレポートの提出もあります。		
成績評価基準		
まとめのテスト 60%、小テスト 20%、出席及び授業姿勢 20%		
授業計画表		
1 障がい児保育の変遷 2 障がい児の理解と支援 3 発達障がい児の理解と支援 4 療育機関と保育機関の連携と発達の支援 5 障がい児保育の実際①（保育内容と方法） 6 障がい児保育の実際②（指導計画の作成と記録及び評価） 7 保育者の家族に対する理解と支援 8 まとめ		
使用テキスト・参考文献		
使用テキスト：西村重稀・水田敏郎『新基本保育シリーズ 17 障害児保育』中央法規 ・毎回、資料配布 ・参考文献は、必要に応じ授業時に提示		

講義要綱

学科・コース	年次	授業形態
こども福祉科 合同	2年次	講義
科目名	授業回数	授業時間
社会的養護Ⅱ	8回	15時間
担当者氏名	担当者実務経験	
和田晃尚	授業内容にかかわる実務に社会福祉士として5年以上の経験を有する。	
科目のねらい		
この科目は、児童福祉施設に入所している子どもたちやその家族への支援で求められる子どもの理解の視点や家族支援の在り方等の援助技術について、講義や演習を通して学びます。		
到達目標		
<ul style="list-style-type: none">・社会的養護にかかわる保育士等の専門職に必要な知識や技術を習得する。・社会的養護にかかわる保育士等の専門職が果たすべき役割を理解する。		
受講の心構え		
1年生時に受講した「社会的養護」の授業内容をよく復習した上で授業に臨んでください。積極的な授業参加を期待します。		
成績評価基準		
テスト(レポート)80%、出席状況や授業態度 20%		
授業計画表		
<ol style="list-style-type: none">1. 社会的養護における生活支援の実際①2. 社会的養護における生活支援の実際②3. 社会的養護における子どもの権利擁護4. 虐待を受けた子どもの理解とケア, 治療的養育の実際5. 社会的養護にかかわる専門職に必要な知識・技術①6. 社会的養護にかかわる専門職に必要な知識・技術②7. 社会的養護におけるソーシャルワーク8. 社会的養護にかかわる保育士等の倫理と責務		
使用テキスト・参考文献		
伊藤嘉余子, 小池由佳編著, 2017, 『はじめて学ぶ子どもの福祉6 社会的養護内容』 ミネルヴァ書房 その他毎回の授業開始時に資料を配布。		

講義要綱

学科・コース	年次	授業形態
こども福祉科 合同	2年次	演習
科目名	授業回数	授業時間
子育て支援	8回	15時間
担当者氏名	担当者実務経験	
伊藤礼美	授業内容にかかわる実務に保育士として5年以上の経験を有する。	
科目のねらい		
保育の専門性をいかした子育て家庭や保護者に対する相談援助の実際や支援方法を学び保護者の「親育ち」を支援する知識・技術・価値観を理解する。		
到達目標		
子育て家庭に対して保育者が行う相談の支援の内容とその実際を具体的に理解し保育現場で少しでも活用できることを目指す。		
受講の心構え		
子育て支援の取り組みについての情報を自分でも調べ興味関心を学んで欲しいです。		
成績評価基準		
授業の取り組み30%・提出物20%・試験50%		
授業計画表		
<ol style="list-style-type: none">1. 子育て支援とは・子育て支援の意義2. 子育て支援の基本的技術・事例検討3. 保育・教育現場での子育て支援・事例検討4. 子育て支援の実践①5. 子育て支援の実践②6. 子育て支援の実践③7. お便りや文書の活用した子育て支援8. 授業のまとめ		
使用テキスト・参考文献		
保育所保育指針解説書 フレーベル館		

講義要綱

学科・コース	年次	授業形態
こども福祉科 合同	2年	演習
科目名	授業回数	授業時間
こどもとリズム表現Ⅲ	15回	30時間
担当者氏名	担当者実務経験	
道上 里奈	授業内容に関わる実務に保育士として5年以上の経験を有する。	
科目のねらい	保育の現場に携わる者として、子どもと一緒に表現する喜びや楽しさを知っていく必要があります。子どもと一緒に表現する前に、まずは保育者自身が表現者として子どもに伝えなくてはなりません。その経験をするための授業です。	
到達目標	楽器の扱い方、計画の立て方や指導法を含めて考える。また、さまざまなリズム表現やリズム遊びなどを知り、人前で表現者として発表し、自信をつける。	
受講の心構え	子どもになりきって表現することや、楽器や歌に触れ、一緒に楽しんでください。また、楽器の使い方、わらべうた、手遊びなどを知る機会として、この授業を有効活用できるよう、意欲的に学んでください。	
成績評価基準	授業態度や発表や参加意欲などで総合的に評価します。	
授業計画表	<ol style="list-style-type: none">1, オリエンテーション／手遊びの発表2, 体操、ダンスの紹介3, 体操、ダンスの練習4, 体操、ダンスの発表5, わらべうたについて6, リトミックについて7, 楽器の紹介／グループ分け8, 合奏練習9, 合奏練習10, 合奏練習11, 合奏練習12, 合奏練習13, 合奏練習14, 音楽発表会15, まとめ	
使用テキスト・参考文献	特にありません。プリントを配るので整理するためのファイルがあるといいと思います。	

講義要綱

学科・コース	年次	授業形態
こども福祉科 合同	2年次	演習
科目名	授業回数	授業時間
幼児造形	8回	15時間
担当者氏名	担当者実務経験	
矢元 政行	-	
科目のねらい		
<p>保育実習に向けて取り扱う造形活動の教材についての必要な知識や技術を学び、さらに造形の方法・用具の扱いなど実技を通して体験的に学習する。</p>		
到達目標		
<ul style="list-style-type: none"> ・実習に向けた造形活動において、発達段階を踏まえた素材や技法、指導や援助について理解できる。 ・えがく領域、つくる領域、造形あそびの領域、行事等における造形活動について実習で使える教材研究を行い習得できる。 ・教材研究及び作品発表を行うことで思考力や表現力を高める。 		
受講の心構え		
<p>保育実習に向けて、より実践的な造形教材について学びます。授業で使う道具等を忘れないこと、配布資料は、ファイリングしてください。演習後は感想を提出してもらいます。</p>		
成績評価基準		
<p>製作課題60%、プリント提出20% 出席率授業態度20%</p>		
授業計画表		
<ol style="list-style-type: none"> 1.保育・教育実習に向けた造形活動の指導案の作成について 2.実習に向けた造形活動「えがく領域」の教材研究と演習 3.実習に向けた造形活動「えがく領域」の教材研究と演習 4.実習に向けた造形活動「つくる領域」の教材研究と演習 5.実習に向けた造形活動「つくる領域」の教材研究と演習 6.実習に向けた造形活動「造形あそび」の教材研究と演習 7.実習に向けた造形活動「造形あそび」の教材研究と演習 8.まとめ 		
使用テキスト・参考文献		
<p>豊岡短大『造形表現論』（配本テキスト） 鶴留見裕子『おりがみよくばり百科』ひかりのくに」 毎回、授業開始時に資料を配布</p>		

講義要綱

学科・コース	年次	授業形態
こども福祉科 合同	2年次	演習
科目名	授業回数	授業時間
こどもと音楽表現Ⅳ	8回	15時間
担当者氏名	担当者実務経験	
折笠美穂	-	
科目のねらい		
<p>様々な表現活動ができるように技術の向上を目指す。ピアノで弾ける曲のレパートリーを増やし伴奏としてのピアノの技術を学ぶ。歌うこと、楽器を演奏することを通して音楽の楽しさを感じ、保育の中に活かすように発展させていくか考えながら技術を学ぶ。</p>		
到達目標		
<p>歌の伴奏法を学び実践に役に立つ力をつける。各自の進度に合わせて簡易伴奏を用いる。</p>		
受講の心構え		
<p>保育活動でその曲をどのように使用するかを考えて選曲し、レパートリーを増やし伴奏として歌えるように練習をしてください。</p>		
成績評価基準		
<p>実技試験・授業態度・練習状況やグループ活動で意欲的に参加しているかを評価する。実技試験 80%・授業態度 10%・練習状況など 10%</p>		
授業計画表		
<p>1. ピアノの技術向上の為の演習 グループでの表現活動の演習 2. ピアノの技術向上の為の演習 グループでの表現活動の演習 3. ピアノの技術向上の為の演習 グループでの表現活動の演習 4. ピアノの技術向上の為の演習 グループでの表現活動の演習 5. ピアノの技術向上の為の演習 グループでの表現活動の演習 6. ピアノの技術向上の為の演習 グループでの表現活動の演習 7. ピアノの技術向上の為の演習 グループでの表現活動の演習 8. まとめ それぞれの成果を発表</p>		
使用テキスト・参考文献		
<p>小林美実編『こどものうた200』『続こどものうた200』チャイルド本社 その他授業内で配布したプリント等</p>		

講義要綱

学科・コース	年次	授業形態
こども福祉科 保育士・幼稚園教諭コース	2年	実習
科目名	授業回数	授業時間
保育実習Ⅱ	11日間	
担当者氏名	担当者実務経験	
谷内 智美	保育士として授業内容にかかわる実務に5年以上の経験を有する。	
科目のねらい		
<ol style="list-style-type: none">1. 実習園について理解を深め、安全および疾病予防への知識を身につける。2. 子どもの観察や関わりを通して乳幼児の発達を理解する。3. 生活や遊びの一部分を担当し、保育技術を習得する。4. 職員間の役割分担とチームワーク、保育士としての倫理を具体的に学ぶ。5. 子どもの最善の利益を具体化する方法について学ぶ。6. 保育士としての倫理を具体的に学ぶ。7. 安全および疾病予防への知識を身に付ける。		
到達目標		
<ol style="list-style-type: none">1. 保育所保育の実際に触れ、保育士としての必要な資質・能力・技術を習得する。2. 家庭と地域の生活実態を把握し、子どもの家庭福祉ニーズに対する理解力・判断力を養うとともに、子育て支援をするために必要とされる能力を養う。		
受講の心構え		
卒業後の進路選択も見据えた積極的な実習態度を求めます。学ぶ姿勢を大切に実習に臨みましょう。		
成績評価基準		
実習評価、実習出席状況・提出物等を総合的に評価する		
授業計画表		
○実習先 札幌市内および札幌近郊保育所 ○保育所における実習期間 令和5年7月24日(月)から8月7日(月) 【期間内で11日間以上】		
使用テキスト・参考文献		
実習の手引き 他		

講義要綱

学科・コース	年次	授業形態
こども福祉科 保育士・幼稚園教諭コース	2年	実習
科目名	授業回数	授業時間
保育実習ⅢA	11日間	80時間
担当者氏名	担当者実務経験	
房田里枝	授業内容にかかわる実務に保育士として5年以上の経験を有する。	
科目のねらい	1. 児童福祉施設などにおける養護・支援を実践し、施設保育士としての必要な資質・能力・技術を習得する。 2. 家庭と地域との生活実態にふれて、児童家庭福祉、社会的養護に対する理解を元に、保護者支援、家庭支援のための知識、技術、判断力を養う 3. 施設保育士に求められる資質・能力・技術に照らし合わせて、自己課題を明確化する	
到達目標	1. 児童福祉施設、障害者支援施設等と機能を学ぶ 2. 施設における支援を体験し、利用者に対する受容・共感的態度を学ぶ 3. 個々の利用者のニーズ把握を通して個別支援計画について学ぶ 4. 施設保育士の多様な業務と職業倫理を学ぶ 5. 多様な専門職との連携や地域社会との連携を学ぶ 6. 施設保育士としての自己課題を明確化する。	
受講の心構え	卒業後の進路選択も見据えた積極的な実習態度を求めます。学ぶ姿勢を大切に実習に臨みましょう。	
成績評価基準	実習評価、実習出席状況・提出物を総合的に評価する。	
授業計画表	○実習先 希望する児童福祉施設及び福祉施設 ○実習期間 令和5年7月24日(月)～令和5年8月7日(月) 【期間内で11日間】	
使用テキスト・参考文献	愛知県保育実習連絡協議会『保育士をめざす人の福祉施設実習』みらい出版 厚生労働省告示『保育所保育指針』フレーベル館/実習の手引き配布	

講義要綱

学科・コース	年次	授業形態
こども福祉科 保育士・幼稚園教諭コース	2年	演習
科目名	授業回数	授業時間
保育実習指導Ⅱ・対策Ⅱ	16回	30時間
担当者氏名	担当者実務経験	
谷内 智美	保育士として授業内容にかかわる実務に5年以上の経験を有する。	
科目のねらい		
1. 実習を円滑に進めていくため知識や技術の習得をするとともに実習内容・実習課題を明確にする。 2. 実習を通して培った保育士としての資質・能力・技術を踏まえて、自己の課題を明確化させる。 ※保育実習指導Ⅱ（8時間）と保育実習対策Ⅱ（8時間）を併せて行うこととする。		
到達目標		
1. 保育所実習に必要な知識・技術を習得するとともに実習内容・実習課題を明確にする。 2. 実習後の振り返りを通して、今後の学習につなげ、自己課題を明確にする。		
受講の心構え		
授業での学びと実体験を繋げ、実習で得た様々な体験を振り返り、自己課題を明確にしましょう。		
成績評価基準		
授業態度・課題への取り組みと提出状況・発表を総合的に評価		
授業計画表		
1. 実習の意義・目的・概要の説明・個人票の作成 2. 実習の抱負・実習課題の作成① 3. 実習課題の作成② 4. 実習先事前訪問 5. 年齢別遊びの展開～指導案作成① 6. 年齢別遊びの展開～指導案作成② 7. 年齢別遊びの展開～指導案作成③ 8. 年齢別遊びの展開～模擬保育④ 9. 実習日誌の取り扱い・記録の書き方 10. 事前集中指導① 11. 事前集中指導② 12. 事後集中指導① 13. 事後集中指導② 14・15 実習報告会 16. 1年生とのディスカッション		
使用テキスト・参考文献		
実習の手引き、配布資料、『保育所保育指針』フレーベル館		

講義要綱

学科・コース	年次	授業形態
こども福祉科 保育士・幼稚園教諭コース	2年	演習
科目名	授業回数	授業時間
保育実習対策Ⅲ・保育実習指導Ⅲ	16回	30時間
担当者氏名	担当者実務経験	
房田里枝	授業内容にかかわる実務に保育士として5年以上の経験を有する。	
科目のねらい		
1. 保育実習Ⅲ(施設)に必要な知識・技術を習得するとともに、自ら学習内容・課題を明確にする。 2. 実習終了後、実習の総括と自己評価を行い、自己の学びを確認するとともに今後の課題を明確にする。 ※保育所指導Ⅲ(施設)8時間と保育実習対策Ⅱ(施設)8時間を併せて行うこととする。		
到達目標		
≪事前指導≫ 実習施設の制度的位置づけ、利用者と援助方法の概要、職員と業務内容について学ぶ 実習記録や実習計画を学ぶとともに、人権尊重・守秘義務などの留意事項を学ぶ ≪事後指導≫ 実習の成果を個別に報告し、自己課題を明確にする		
受講の心構え		
授業での学びと実体験を繋げ、実習で得た様々な体験を振り返り、自己課題を明確にしましょう。		
成績評価基準		
授業態度・課題への取り組みと提出状況・発表を総合的に評価。		
授業計画表		
1. 実習の意義・目的・概要の説明・個人票作成 2. 実習の抱負・実習課題の作成① 3. 実習課題の作成② 4. 実習先事前訪問 5. 実習課題の作成③ 6. 実習課題の作成④ 7. 個別指導計画の考え方① 8. 個別指導計画の書き方② 9. 実習日誌の取り扱い・記録の書き方 10. 事前集中指導① 11. 事前集中指導② 12. 事後集中指導① 13. 事後集中指導② 14. 実習報告会 15. 実習報告会 16. 1生とのディスカッション		
使用テキスト・参考文献		
愛知県保育実習連絡協議会『保育士をめざす人の福祉施設実習』みらい出版		

講義要綱

学科・コース	年次	授業形態
こども福祉科 保育士・幼稚園教諭コース	2年	実習
科目名	授業回数	授業時間
教育実習	20日間	
担当者氏名	担当者実務経験	
井口美和・藤田留美		
科目のねらい		
<ol style="list-style-type: none">1. 幼児の観察やかかわりを通して、幼児理解を深める2. 幼稚園教諭、保育教諭の専門性と職業倫理について、具体的な実践に結び付けて理解する。3. 実践を通して必要な技術を身につける4. 幼稚園教諭・保育教諭としての自己課題を明確にする。		
到達目標		
<ol style="list-style-type: none">1. 実習園について、保育理念・保育方法・概要等を理解する。2. 幼児の観察や関わりを通して、幼児の発達を理解する。3. 生活や遊びの一部を担当し、保育・教育の技術を習得する。4. 教職員の役割分担とチームワークについて理解する。5. 安全及び疾病予防への配慮について理解する。6. 指導実習の計画・実践・振り返りを行い、PDCAサイクルを理解する。		
受講の心構え		
健康に気をつけ、幼児とたくさん関わり、体と頭をフル回転させ、保育の楽しさと苦しさを存分に体験してください。		
成績評価基準		
実習出席状況・実習先評価 70%、実習日誌 10%、提出物 10%、・提出物 10%を総合的に評価する。		
授業計画表		
○実習期間 令和5年5月29日(月)～令和5年6月23日(金) 【期間内で20日間】		
使用テキスト・参考文献		
田治米登美子他『幼稚園教育実習事前・事後指導』豊岡短期大学 文部科学省『幼稚園教育要領』フレーベル館 内閣府他『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』フレーベル館		

講義要綱

学科・コース	年次	授業形態
こども福祉科 保育士・幼稚園教諭コース	2年	演習
科目名	授業回数	授業時間
教育実習対策Ⅱ	8回	15時間
担当者氏名	担当者実務経験	
藤田留美	授業内容にかかわる実務に保育士として5年以上の経験を有する。	
科目のねらい		
1 教育実習へ向けての目標・課題を明確にし、幼稚園教諭・認定こども園保育教諭を目指す意欲を高め、実習への充実へつなげる。 2 幼稚園教諭・保育教諭として必要な資質を高め、具体的に保育を計画・実践し、振り返る力を身につける。 3 実習の目標、課題を明確にし、実習に必要な「物・心」の準備を行う。		
到達目標		
1.幼稚園訪問を通し、実習園の理解を深めると共に、必要な準備を進める。 2.20日間の実習をイメージし、実習目標・計画を立て、健康管理に努める。 3.教育実習対策Ⅰ及び既習教科の知識・技能を基礎として実践し、意見交換を基に指導方法や環境構成等について検討し、形にする力を身につける		
受講の心構え		
事前準備を行うことで、自信をもって実習に臨みましょう。その中で「保育とは？保育者とは？」を考えましょう		
成績評価基準		
授業態度60%・提出物(指導案・記録物)40%		
授業計画表		
1 実習概要の説明・実習目標立案・実践演習 2 実習目標完成・事前訪問準備 3 実習先事前訪問 4 事前訪問後まとめ(事前学習・準備物・指導案など) 5 指導計画・実習日誌について 6 指導計画立案・使用教材準備(教材研究) 7 指導計画立案・実践 8 指導計画立案・実践・評価		
使用テキスト・参考文献		
田治米登美子他『幼稚園教育実習事前・事後指導』豊岡短期大学 文部科学省『幼稚園教育要領』フレーベル館 内閣府他『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』フレーベル館		

講義要綱

学科・コース	年次	授業形態
こども福祉科 合同	2年次	演習
科目名	授業回数	授業時間
こどもと体育	8回	15時間
担当者氏名	担当者実務経験	
高橋 和也	授業内容にかかわる実務に幼稚園教諭として5年以上の経験を有する。	
科目のねらい		
子どもの発達過程と運動遊びの基礎を理解し、乳幼児期の運動遊びが発達にどのような影響を与えるのか理解する。また、運動遊びの具体的な内容や指導方法について理解、取得し、保育者としての実践力を身に付ける。		
到達目標		
体づくり運動、走・跳の運動遊び、器械・器具を使った運動遊び等、子どもが主体的に遊べる具体的な展開の仕方を実践できるようになる。		
受講の心構え		
運動のしやすい服装。積極的な姿勢で授業に臨み、グループでの活動も多いので、協力して行ってください。		
成績評価基準		
授業への取り組み 50%、提出物、グループ発表等 50%		
授業計画表		
<ol style="list-style-type: none">1. 子どもの発達過程と運動遊びについて2. 体づくり運動3. 体づくり運動4. 用具を使った運動遊び5. 用具を使った運動遊び6. サーキット遊び7. グループでの活動・実践8. グループでの発表・授業のまとめ		
使用テキスト・参考文献		
特になし		

講義要綱

学科・コース	年次	授業形態
こども福祉科 合同	2年	演習
科目名	授業形態	授業回数
卒業研究	演習	15回
担当者氏名	担当者実務経験	
房田 里枝	授業内容にかかわる実務に保育士として5年以上の経験を有する。	
科目のねらい		
2年間学んだことを生かし、総合的な創造力・表現力を身につけるとともに、表現することを通して、保育者としての指導力を養う。		
到達目標		
授業、実習を通して学んだ技術を総合的な創造力・表現力として発揮するとともに、保育者としての指導力を養う。さらに、チームとして協力し合い、作品を作り上げる達成感を味わう。		
受講の心構え		
子どもたちが興味・関心をもって鑑賞する姿をイメージしながら、それぞれが責任と自覚を持ち、クラス全員で良い作品を作りあげる。		
成績評価基準		
取り組み段階から最終日までの状況を総合的に評価する。		
授業計画表		
<ol style="list-style-type: none">オリエンテーション リーダー、副リーダーを決めて卒業制作に向けて主として動く担当者を決める。 題材を選ぶ。題材や主な内容を決めて、大道具・小道具・背景・衣装に担当分けをする。 題材が決まり次第、キャスト・器楽・黒子・音響・照明の担当分けをする。グループごとに製作グループごとに製作グループごとに製作グループごとに製作・完成製作物の補正・修正台本に合わせた必要な音楽を話し合う。台本に合わせた必要な音楽を選曲し必要な楽器を選ぶ。曲に合わせて楽器合奏を考え、歌詞を考える。<ol style="list-style-type: none">選曲させた曲のパートを決め練習する演技に合わせて実際に演奏し、必要な部分の手直しをする。演技に合わせて実際に演奏し、必要な部分の手直しをする。演技に合わせて実際に演奏し、必要な部分の手直しをする。演技に合わせて実際に演奏し、必要な部分の手直し、楽曲を完成させる。		
使用テキスト・参考文献		
絵本、様々な楽譜など		

講義要綱

学科・コース	年次	授業形態
こども福祉科 合同	2年	演習
科目名	授業回数	授業時間
保育制作Ⅱ	8回	15時間
担当者氏名	担当者実務経験	
谷内 智美	保育士として授業内容に関わる実務に5年以上の経験を有する。	
科目のねらい		
・保育教材の目的やねらいを理解し、子どもと一緒に楽しむことができるような保育教材を計画し作成する。 ・これまでの学びや実習での経験を生かし子どもの姿をイメージしながら表現・応用・展開し実践を行う。		
到達目標		
・年齢、行事、季節などを踏まえねらいを設定し、子どもが楽しめる保育教材を考え計画し、作成する。 ・これまでの実践や課題を通し身に付けた演技力・応用力・展開力を生かし、教材を使用した実践を行う。 ・実施後には振り返りを行い、自己課題を明確にする。		
受講の心構え		
これまでの学びを生かし、実際に現場で使用できる教材づくりをしていきましょう。 制作時間を大事に、子どもの楽しむ姿をイメージしながら計画性を持って制作できると良いですね。		
成績評価基準		
授業態度、参加意欲や制作物の進行状況、計画性や発表したものを含め、総合的に評価します。		
授業計画表		
1 オリエンテーション／計画① 2 計画②・制作① 3 制作② 4 制作③ 5 制作④ 6 制作⑤ 7 実践発表① 8 実践発表②／授業のまとめ		
使用テキスト・参考文献		
特にテキストはありませんが、保育雑誌などを参考にするといいと思います。また、実習などで実際に教材を使用した保育に参加できた場合は、その時の様子などメモしておくとう活用できると思います。		

講義要綱

学科・コース	年次	授業形態
こども福祉科 合同	2年次	講義
科目名	授業回数	授業時間
障害者支援論	8回	15時間
担当者氏名	担当者実務経験	
林 広康	-	
科目のねらい		
障害とは？何かをしてもらう。障害を持ったか方々は特別ではなく、自分たちと変わらず人間であり、人と人とのかかわりであることを学んでもらう。		
到達目標		
障害を持つ方々の支援について、障がいを知り、またどのような生活をしているか？生活するうえでどのようなサービスがあるかを知る		
受講の心構え		
配布資料はファイリングすること/積極的授業への参加を期待します		
成績評価基準		
出席・授業姿勢 50% レポート 20% 事例検討（グループディスカッション） 30%		
授業計画表		
<ol style="list-style-type: none">①オリエンテーション 講師自己紹介 授業計画説明②障害とは何かについて考える まずは互いを知る事。（生徒に自己紹介をしてもらいます）2. 福祉サービスについて①障害者総合支援法②日中活動系③居住系3. 虐待防止と権利擁護について4. コミュニケーションの取り方について5. 個別支援計画の作成方法6. ロールプレイ 事例をもとに当事者、保護者、支援者になり個別支援を作成7. 個別支援の発表8. まとめ		
使用テキスト・参考文献		
福祉ガイド（札幌市） 障害特性を知る（札幌市動画）		

講義要綱

学科・コース	年次	授業形態
こども福祉科 合同	2年	演習
科目名	授業形態	授業回数
卒業研究Ⅱ	演習	15回
担当者氏名	担当者実務経験	
房田 里枝	授業内容にかかわる実務に保育士として5年以上の経験を有する。	
科目のねらい		
2年間学んだことを生かし、総合的な創造力・表現力を身につけるとともに、表現することを通して、保育者としての指導力を養う。		
到達目標		
授業、実習を通して学んだ技術を総合的な創造力・表現力として発揮するとともに、保育者としての指導力を養う。さらに、チームとして協力し合い、作品を作り上げる達成感を味わう。		
受講の心構え		
子どもたちが興味・関心をもって鑑賞する姿をイメージしながら、それぞれが責任と自覚を持ち、クラス全員で良い作品を作りあげる。		
成績評価基準		
取り組み段階から最終日までの状況を総合的に評価する。		
授業計画表		
<ol style="list-style-type: none">1. 各パート練習12. 各パート練習23. 各パート練習34. 各パート練習45. 各パート練習56. 合同練習17. 合同練習28. 合同練習39. 合同練習410. 合同練習511. 合同練習612. 総合練習113. 総合練習214. 総合練習3 (会場設営)15. 総合練習4 (会場設営)		
使用テキスト・参考文献		
特になし		

講義要綱

学科・コース	年次	授業形態
こども福祉科 合同	2年	演習
科目名	授業形態	授業回数
卒業研究Ⅲ	演習	15回
担当者氏名	担当者実務経験	
房田 里枝	授業内容にかかわる実務に保育士として5年以上の経験を有する。	
科目のねらい		
2年間学んだことを生かし、総合的な創造力・表現力として発揮するとともに、保育者としての指導力を養う。さらに、チームとして協力し合い、作品を作り上げる達成感を味わう。		
到達目標		
1. オペレッタの内容に合わせ、背景、大道具、小道具、衣装の製作を行う。 2. 台本にあわせ、オペレッタの表現にふさわしい音楽を創作して歌詞を考え、場面にあった楽器、効果音、BGMを考え演奏する		
受講の心構え		
子どもたちが興味・関心をもって鑑賞する姿をイメージしながら、それぞれが責任と自覚を持ち、クラス全員で良い作品を作りあげる。		
成績評価基準		
取り組み段階から最終日までの状況を総合的に評価する。		
授業計画表		
1. 各パート練習1 2. 各パート練習2 3. 各パート練習3 4. 各パート練習4 5. 各パート練習5 6. 合同練習1 7. 合同練習2 8. 合同練習3 9. 合同練習4 10. 合同練習5 11. 合同練習6 12. 総合練習1 13. 総合練習2 14. 総合練習3 15. 評価と反省		
使用テキスト・参考文献		
特になし		

講義要綱

学科・コース	年次	授業形態
こども福祉科 保育士・幼稚園教諭コース	2年次	演習
科目名	授業回数	授業時間
教育実習対策Ⅲ	8回	15時間
担当者氏名	担当者実務経験	
井口美和	授業内容にかかわる実務に幼稚園教諭として5年以上の経験を有する。	
科目のねらい		
1 実習に向けての目標・課題を明確にし、幼稚園教諭・認定こども園保育教諭を目指す意欲を高める。 2 幼稚園教諭・保育教諭として必要な資質を高め、保育を計画・構築し、実践する力を身につける。 3 実習での学びを振り返り、課題意識・行動計画を考える。		
到達目標		
1 既習知識・技能を基礎として実習計画を立案し、準備を進める。 2 実習の学びと成果を整理し、自己課題を明確にする。		
受講の心構え		
自信をもって教育実習に臨みましょう。保育を楽しみ、保育現場での様々な体験をしましょう。保育現場での実践からの学びを基に、自身の保育観を見出し、将来の希望に向かってください。		
成績評価基準		
・記録物提出 20% ・発表の内容・資料 50% ・実習評価 30%		
授業計画表		
1 集中事前指導 「目標の確認・心構え」 2 集中事前指導 「持参資料・準備物等作成」 3 集中事後指導 「実習のまとめ」 4 集中事後指導 「実習体験発表準備」 5 集中事後指導 「実習体験発表準備」 6 集中事後指導 「実習体験発表会」 7 集中事後指導 「実習体験発表会」 8 集中事後指導 「実習体験発表会」 ・まとめ ・講評		
使用テキスト・参考文献		
赤澤誠一 『幼稚園教育実習事前・事後指導』豊岡短期大学 文部科学省 『幼稚園教育要領解説』『フレーベル館 内閣府他 『幼保連携型教育・保育要領解説』フレーベル館		

講義要綱

学科・コース	年次	授業形態
こども福祉科 合同	2年	演習
科目名	授業回数	授業時間
点訳	8回	15時間
担当者氏名	担当者実務経験	
吉田 重子		
科目のねらい	点字の書き方の基本を習得するとともに、視覚障害者を取り巻く社会環境、生活上の不便さ等の一端を学ぶことを通して、よりよい支援を考えるきっかけとする。	
到達目標	・連絡事項や私信など、日常生活上の情報を伝えられる程度の点字を書くことができる。 ・視覚障害の種類、日常生活用具、余暇の利用の可能性など、視覚障害者を取り巻く社会環境の一端を知ることができる。	
受講の心構え	毎時配布するプリントをしっかりと読んで、点訳演習に取り組むこと。	
成績評価基準	レポート課題6割、授業への取り組み（発言や毎時行う演習提出物等）4割	
授業計画表	<ol style="list-style-type: none">点訳：点字の仕組み、点字器の使い方、50音の習得（清音・濁音） トピックス：点字の歴史点訳：拗音・拗濁音・数字の習得 トピックス：視覚障害の定義、疾患や見え方等点訳：点字表記法の特徴（助詞の表記等）の習得 トピックス：視覚障害者用日常生活用具・学習用具の紹介点訳：文の書き方。分かち書きの基本の習得 トピックス：街中で見かける点字について点訳：文の書き方、分かち書きの基本の習得 トピックス：視覚障害者と余暇の利用（スポーツ）点訳：文章の書き方、分かち書きの習得、指先で点字を読む体験 トピックス：視覚障害者と余暇（映画鑑賞、読書等）点訳：文章の書き方、書式の基本の習得、アルファベットの習得 トピックス：視覚障害児と玩具（健常児とともに遊べる「共遊玩具」の紹介）点訳：文章の書き方、書式の基本の習得、アルファベットの習得 トピックス：視覚障害児・健常児、子供同士の関わりを促す支援の在り方	
使用テキスト・参考文献	全国資格障害者情報提供施設協会『初めての点訳 第3版』 吉田重子『点字からはじまるメッセージ』北海道新聞出版局	

講義要綱

学科・コース	年次	授業形態
こども福祉科 合同	2年	講義
科目名	授業回数	授業時間
応対論 II	8回	15時間
担当者氏名	担当者実務経験	
三品 あおい		
科目のねらい		
2年生になり、毎回より実践的な内容に取り組みます。 マナーを通して円滑なコミュニケーションを図り、より円滑な人間関係を築くことをねらいとします。		
到達目標		
「挨拶」「身だしなみ」「言葉づかい（敬語）」と言った、社会人として必須・基本的なことを日々の学校生活から実践する		
受講の心構え		
応対論は社会に出る前の練習の場であるので、授業で学んだことを積極的に実践して習慣にしましょう。 挨拶や敬語などマナーは他の教科や日常生活でも身につきます。欠席した場合は、次の授業で支障がないように、事前に他の学生のノートやテキストで確認しましょう。		
成績評価基準		
筆記試験25%・実技試験25%・平常点（授業での取り組み50%）の総合評価		
授業計画表		
<ol style="list-style-type: none">1.円滑な人間関係を築くためのマナー2.就職面接のマナー・第一印象の重要性3.就職面接のマナー（アポイントメントの取り方・訪問等）4.就職面接のマナーの実践5.保育者の職場（保護者他）へのマナー（守秘義務・SNS等）6.保育者の職場（上司・先輩・同僚）へのマナー（報連相・敬語・整理整頓等）7.社会に出て役立つマナー（冠婚葬祭・食事のマナー・お礼状等）8.まとめ・試験		
使用テキスト・参考文献		
『マナー&プロトコルの基礎知識』 NPO 法人日本マナープロトコル協会		

講義要綱

学科・コース	年次	授業形態
こども福祉科 保育士・幼稚園教諭コース	2年	講義
科目名	授業回数	授業時間
国語総合演習Ⅱ	8回	15時間
担当者氏名	担当者実務経験	
浦田 日出雄		
科目のねらい		
自分が書く文字について振り返り、正確で読みやすい工夫をする。また、いろいろな様式の文章に触れ、目的に合った文章を理解したり、書いたりする。		
到達目標		
字形を整え、丁寧に文字を書くことが出来る。語彙を増やし、使用することができる。いろいろな様式の文章を書くことができる。		
受講の心構え		
伝えたいことを話したり、書いたり、相手の話を聞いたりしながら、豊かな表現を目指し取り組んでほしい。		
成績評価基準		
まとめの試験 60% 小テスト 20% 授業姿勢 20%		
授業計画表		
<ol style="list-style-type: none">1. 個人票を作成する。2. 封筒の宛名、差出人の住所、名前をバランス良く書く。礼状の書き方。3. 礼状の書き方を知る。4. 履歴書について理解する。同音異義語を練習する。5. 履歴書を書く。同訓異義語を練習する。6. 慣用句、専門用語の正しい理解と使い方を知る。7. 四字熟語が読めて、意味を知る。ことわざについて知る。8. ことわざについて知る。まとめの試験をする。		
使用テキスト・参考文献		
必要に応じてプリントを配付する。		

講義要綱

学科・コース	年次	授業形態
こども福祉科 合同	2年次	演習
科目名	授業回数	授業時間
就職ガイダンスII	5回	10時間
担当者氏名	担当者実務経験	
長屋 敦志	授業内容にかかわる実務に介護福祉士として5年以上の経験を有する。	
科目のねらい		
・実習など学校スケジュールがある中で、いつ、何をするのか具体的な行動を理解し、各自が主体的に考え、行動できることを目指す。		
到達目標		
1. 進路について、主体的に考え、取り組める。 2. 就職活動に必要な知識や技術を認識し、獲得する。 3. 就職試験の傾向と対策を学び、自らの就職活動に反映させ行動する。		
受講の心構え		
希望する進路は、自分で「掴み取る」ものです。 「実現してもらう」ものではない。希望する進路を掴み取るために、一緒に考え行動しましょう。		
成績評価基準		
受講をもって履修とする		
授業計画表		
1 前年度求人・内定の流れ、就職活動のきまりと受験等各種手続きについて 2 求人票を見るポイント 3 長期休みとそれ以降の具体的な就職活動について 4 分野別ガイダンス 就職試験に向けた対策 5 内定者・未定者指導		
使用テキスト・参考文献		
学校から資料配布		